

新庁舎建設アドバイザー会議ニュース

ー設計から建設準備へー

実施設計が完了し、次のフェーズへ移行！

新庁舎建設アドバイザー会議を2回（第9回・第10回）開催しました。第9回では、5つの設計方針に沿って設計内容を報告し、各委員から意見をいただきました。第10回では、実施設計の完了を報告したうえで、各委員から今後の検討事項について意見をいただきました。

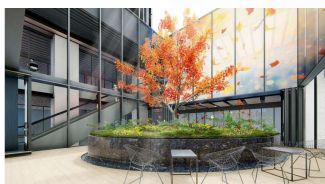
第9回 令和7年3月31日

実施設計の進捗報告

■ 免震構造の庁舎



■ 環境性能



■ 新技術の活用



～委員とのやりとり（抜粋）～

委員：工事費が増大している中で、適正化の取り組みは行っているのか。

区：防災性能や環境性能は堅持したうえで、仕様の見直しを図りコスト削減に取り組んでいる。

委員：光庭について、噴水の中に木を植えた場合、落葉による排水溝のつまりなどが都度発生するためメンテナンスが非常に難しい。

区：唯一水を活用した部分になるが、ご指摘の通りメンテナンスが非常に難しく様々な手間がかかるため、再度、現状のモミジでいいのかも含め検討していく。

委員：今後の人材不足の対応に向けて、警備ロボット等の導入が必要である。新庁舎だからこそ新たな技術を取り入れていかなければならない。

区：他自治体の事例等、情報収集をしながら検討していく。

委員：一体的に進めている再開発事業の進捗状況を共有いただきたい。

区：基本設計を完了した段階である。船堀地区は「高台まちづくり」のモデル地区となっているため、再開発組合と情報共有しながら「災害に強いまちづくり」を進めていく。

委員：アトリウム広場について、時間管理などのルールはどのように考えているのか。

区：平日の開庁時間だけでなく夜間・休日にも利用可能とする予定であり、利用方法は検討中である。

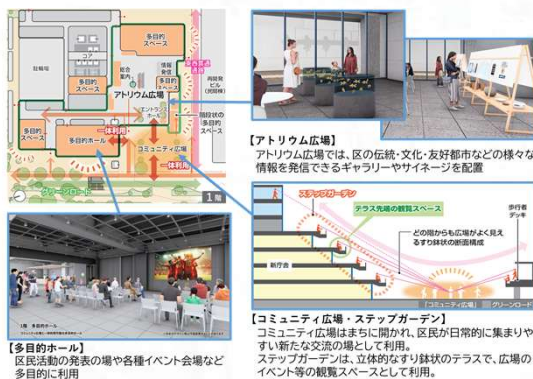
実施設計の完了に向けてラストスパート！

新庁舎建設アドバイザー会議ニュース

第10回 令和8年3月31日

実施設計の完了報告

■ 協働・交流の拠点



■ 執務機能



～委員とのやりとり（抜粋）～

委員：エリアマネジメントについて、区民や区内企業などと一緒に取り組むための組織づくりについて検討できるタイミングではないか。

区：現在、何ができるかを研究しているため、今後検討していく。

委員：デジタルサイネージを導入することはいいことだとは思いますが、電気の使用量も増加するため、省エネ対策も必要ではないか。

区：庁舎全体としてエネルギー消費を半分以下にする計画としている。デジタルサイネージは、今後の状況を踏まえて対応していく。

委員：区民の方々への情報発信はどのように行っているのか。

区：ワークショップやオープンハウス型意見交換会の開催などで区民の方々の意見を伺いながら進めてきた。また節目ごとにホームページや広報えどがわなどでお知らせしてきた。

委員：アトリウム広場の休日の使い方はどのようにイメージしているのか。

区：区民の方々に愛着をもっていただけるように夜間・休日也可以使用できる空間にしたいと考えている。

委員：新庁舎を見据えた職員の働き方について、試行錯誤して先駆的な自治体となってほしい。

区：まずは現庁舎で試行してみて、職員に色々な働き方を経験してほしいと考えている。

実施設計完了に伴い、建設準備フェーズへ移行！！

～アドバイザー会議でいただいた意見を踏まえ、新庁舎建設を進めます～



新庁舎建設の詳細は、区ホームページ（左記二次元コード）をご覧ください。

発行：新庁舎・施設整備部新庁舎整備課 電話：03-5662-2605